

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

High-dose MTX(sLV)+ Ara-C+【BS】Rituximab療法

週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5
リツキシマブ BS	375 mg/m ²	↓				
メソトレキセート(メトトレキサート)	200 mg/m ²		↓			
メソトレキセート(メトトレキサート)	800 mg/m ²		→			
シタラビン	2000 mg/m ² /回			↓↓	↓↓	
プレドニン(プレドニゾロン)	50 mg/body/回		↓↓	↓↓	↓↓	
アイソボリン(レボホリナート)	10 mg/body/回			↓↓↓↓	↓↓↓↓

- 【注意】
- * リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと
 - * 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 - * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH≥7.5)する。
 - * MTX投与開始後48時間後・72時間後のMTX血中濃度が、それぞれ
1x10⁻⁶M(1 μmol/L)未満, 1x10⁻⁷M(0.1 μmol/L)未満であることを確認し、
どちらか一方でも超えた場合は、各々 1x10⁻⁶M未満, 1x10⁻⁷M未満になるまで、
十分な水分の補給、尿のアルカリ化、レボホリナートの増量や投与延長を行う。
 - * シタラビンは朝夜 2 回 12 時間ごとに投与し、点滴時間は 2 時間を越えないように注意。
 - * 治療中は、ステロイド点眼を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 * 初回投与は必ず入院で実施

① イブuproフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

☆30分後より

② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

*注:総量 600 mLを超える時はテルモ生食1 Lを使用

- ④ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg)_____錠 デザレックス(5 mg)_____錠 内服
☆30分後より
- ② 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブ BS + 生食 適量 (10倍希釈)
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
 - *注:総量 600 mLを超える時はテルモ生食1Lを使用
- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 10 内服

朝

High-dose MTX(sLV)+Ara-C+【BS】Rituximab療法

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保 | 維持(20mL/時間) |
| ② グラニセトロン 3mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(④の30分前) |
| ③ プレドニン 50 mg + 生食 10 mL | 側管静注 |
| ④ メソトレキセート + 生食 500 mL | 点滴静注120分 |
| ⑤ メソトレキセート + 生食 500 mL | 22時間持続静注
(④終了後開始) |
| 夜 | |
| ⑥ プレドニン 50 mg + 生食 10 mL | 側管静注 |

day 3~

- | | |
|----------------|------|
| ① アイソボリン 10 mg | 側管静注 |
|----------------|------|
- アイソボリン 25 mg/Vを生食 5 mLにて溶解後、必要量 2 mLを採取する。
- メソトレキセート投与開始 36 時間後より開始し、6 時間ごとに繰り返し静注する。
- 48、72 時間後に血中MTX濃度を測定する。

day 3, 4 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝食後

内服

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 朝 | |
| ① 生食500 mL にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン 3 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(④の30分前) |
| ③ プレドニン 50 mg + 生食 10 mL | 側管静注 |
| ④ シタラビン + 生食 350 mL | 点滴静注120分 |

*生食150 mLをバッグから前もって抜いておく

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 夜 | |
| ⑤ グラニセトロン 3 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(⑦の30分前) |
| ⑥ プレドニン 50 mg + 生食 10 mL | 側管静注 |
| ⑦ シタラビン + 生食 350 mL | 点滴静注120分 |

* 生食 150 mLをバッグから前もって抜いておく

day 5

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
|-------------------|--------------|

② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL

側管静注

	コース							
	day1		day2		day3		day4	
月 日	/		/		/		/	
リツキシマブ BS 開始時刻	↓							
プレドニン 開始時刻			↓	↓	↓	↓	↓	↓
メソトレキセート 開始時刻			↓					
メソトレキセート 開始時刻			→					
シタラビン 開始時刻					↓	↓	↓	↓
確認								

	day3				day4				day5				day6			
	/				/				/				/			
アイソボリン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認																